

令和8年 安全大会を行いました

2026/07/15

当社では、労働災害ゼロの職場づくりをめざし、令和8年7月10日に「安全大会」を開催しました。

前年度の振り返りや、今後の重点安全対策の共有を行い、労働災害ゼロに向けた目標と具体的な取り組みを全員で確認しました。

また、安全意識の浸透を目的として募集した「安全標語」の入選者表彰を行い、入選作品を紹介しました。







****各社新聞に掲載されました****

福島建設工業新聞

2026年(令和8年)7月15日(水曜日)



石橋建設工業(本宮市、石橋英雄社長)は10日、

石橋建設工業

安全考え行動に生かせ

ゼロ災達成へ 100人参加で大会

石橋建設工業(本宮市、石橋英雄社長)は10日、同市の白沢公民館で今年度安全大会を開いた。社員、協力会社員約100人が参加した。石橋宏章代表取締役専務が「今大会を契機に安全について改めて考え、今後の行動に生かしてほしい」とあいさつし、安全標語入選者に表彰状を手渡した。長谷川恵一郡山北警察署本宮分庁舎交通課交通第3係長が交通事故防止

建設工業)

▽最優秀賞Ⅱ添田貴江(長竹技研)▽優秀賞Ⅱ金澤大輔(セーフティステップ)佐藤真理子(根本建設)根本政博(石橋

通り。

に向けた危険予測のポイント、佐藤考夫エス・エーサービスセンター代表取締役が協力会社の現場における安全管理について講話した。根本輝夫土木部次長の発声でスローガン「ゼロ災でいこうヨシ」を唱和し写真した。安全標語入選者は次の

福島民報新聞

2026年(令和8年)7月12日(日曜日)

労災ゼロ誓う
石橋建設工業
本宮で安全大会
本宮市の石橋建設工業(石橋英雄社長)は10日、市内の白沢公民館で安全大会を開き、社員らが労働災害ゼロ

を誓い合った。同社と協力会社から約100人が出席した。石橋宏章専務が「一つのチームとして互いに声を掛け合うことで安全な現場をつくる」とができる。大会を機に一人一人が行動を見つめ直してほしいと呼びかけた。出席者全員でスローガン「ゼロ災でいこうヨシ」を唱和した。

あいさつする石橋専務



席上、安全標語入選者の表彰を行い、石橋

専務が受賞者に表彰状などを手渡した。
▽最優秀賞＝添田貴江(長竹技研)▽優秀賞＝金沢大輔(セーフティステップ)佐藤真理子(根本建設)根本政博(石橋建設工業)

福島民報 2026年(令和8年)7月24日(金曜日)

労災事故ゼロへ決意

本宮 石橋建設工業が安全大会

本宮市の石橋建設工業は10日、本宮市の白沢公民館で安全大会を開き、出席者が労働事故ゼロに向け、決意を新たにした。

社員や協力会社の従業員計約100人が出席した。石橋宏章専務が「事故は慣れや過信、確認不足が重なると引き起こる。声をかけ合い、助け合うことで安全につながる。大会が行動を見直す機会になることを期待する」とあいさつした。

あいさつする石橋専務



出席者が根本輝夫土木部長の発声に合わせて、スローガンを唱和した。このほか、郡山北署本宮分庁舎の長谷川恵一交通課交通第3係長が「交通事故防止について 危険を予測・回避するポイント」と題し、講話した。席上、安全標語入

選者表彰も行われた。

◇安全標語入選者▽最優秀賞＝添田貴江(長竹技研)▽優秀賞＝金沢大輔(セーフティステップ)佐藤真理子(根本建設)根本政博(石橋建設工業)